

令和3年度 第48回「部落差別をなくする運動」

強調句間啓発事業

参加者アンケート



データを中心に“差別の現実から学ぶ”ということがいかに大切なのかということが改めて理解できた。差別はする側に非があるという認識を持ち続けていきたい。



ネットによる差別事象の実例を知ることができた。データや当事者のインタビューによる研修内容が部落問題の現状をリアルに知ることができてよかった。



「寝た子を起すな」ではすまされない深刻な問題であることが理解できた。自分自身何が出来るかを今後も学んでいきたい。



社会学の視点から見た同和問題。わかりやすかったし、先生の体験に基づいた話にもとても共感できた。